

22 明治18年(1885年)、集中豪雨から始まった淀川大洪水の被害は、淀川が決壊したことにより被災者27万人を超える事態になり、現在の鶴見区あたりは泥で覆われました。この危機に立ち上がった放出出身の大橋房太郎は、淀川をはじめ、〇〇川、寝屋川の3つの治水事業を生涯で成し遂げ、「治水翁」と呼ばれました。〇〇川とは何川でしょうか？

- ① 恩智川      ② 長堀川      ③ 大川      ④ 六郷川

23 今では道路が縦横に走る鶴見区ですが、昔は「井路」と呼ばれる水路が移動に重宝されていました。水路を泳ぐアヒルや湿地帯の性質を利用した〇〇畑が、おなじみの風景でしたが、〇〇に入る野菜はなんですか？

- ① セリ      ② カボチャ      ③ レンコン      ④ ゴボウ

24 大正3年(1914年)10月に、今福から天満橋を結ぶ航路で寝屋川を走る巡航船が開業しました。巡航船は、6馬力の石油発動機付きで人気があり、天満橋の野田屋の前から片町一嶋野橋一朝日橋一今福間に就航していました。その後、地元からの要望もあり、今福からある所まで延長されました。どこまで延長されたのでしょうか？

- ① 今津      ② 徳庵      ③ 古宮橋      ④ 鴻池新田

25 かつて京からの高野山詣に利用された高野街道のうち、おおむね守口から河内長野までの間が中高野街道です。そのうち、鶴見区内の街道は「〇〇街道」や「放出街道」と呼ばれていました。「つるみ」の名前は、この「〇〇」に由来しているとの説もあります。〇〇に入る街道の名称はなんですか？

- ① つるみ      ② つつみ      ③ つきみ      ④ つるぎ